

台風 19 号災害支援のこれからを考えるための振り返りセミナー 開催要項

1 目 的

台風 19 号による災害支援においては、発災直後から被災住民の暮らしを取り戻すべく、ボランティア・NPO・NGO、災害支援関係団体、社会福祉協議会などが協働しながら長野県内で延べ7万人を超えるボランティアによる活動をコーディネートし、家屋の復旧のほかにも多様できめ細やかな支援を進めてまいりました。

特に被害が甚大となった長野市はもちろん、千曲川沿線の被災地域では、厳冬期を迎える住民の生活支援、地域の再生、生業支援などまだまだ発災前の生活を取り戻すには多くの時間と知恵が必要です。

このセミナーは、これまで取り組んだ災害支援の現状と、被災地でこれから必要とされること、「誰を」「何を」大切にして被災地の応援を考えるのか、今後起こりうる災害に備えて必要なスキル・ノウハウを共有する機会として開催します。

- 2 主 催 社会福祉法人長野県社会福祉協議会 長野県内社協職員連絡協議会
- 3 日 時 令和2年(2020年)1月18日(土) 10:30-15:00
- 4 会場予定 長沼農産物直売所「アグリながぬま」(長野市穂保 274-1)
※会場変更の場合、別途ご案内いたします。
- 5 対象者 市町村社会福祉協議会職員、ボランティア、NPO・NGO、災害支援関係団体、災害支援に関心のある方
- 6 参加費 無料
- 7 内 容 別紙プログラムをご確認ください。
- 8 申込方法 別添「参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにより
本会へ1月15日(水)までにお申し込みください。
- 9 その他 本セミナーに係る個人情報は、本会の「個人情報の保護に関する方針」に基づき
適切に取扱い、他の目的で使用することはありません。

プログラム

時間	内容
10:30	■開会・事務連絡（受付 10:00～）
10:40	<p>■シンポジウム 「台風19号災害への取組みの共有」</p> <p>今回の災害によって地域住民の皆さんは、これまでの生活が一瞬にして奪われながらも、暮らしを取り戻すべく復旧作業を続けてきました。この地域を、この人を救いたいと思うボランティア・支援者が集い、協働し合い、多くの力が結集して復旧活動を進めてきました。</p> <p>何を大切にして取り組んできたのか、誰のために取り組んできたのかを共有し、これからの支援の在り方を考えます。</p> <p>《コーディネーター》 石井布紀子 氏(NPO法人さくらネット 代表)</p> <p>《シンポジスト》 前原 土武 氏(災害NGO結 代表)</p> <p>長野県社会福祉協議会</p> <p>※その他シンポジスト調整中</p>
12:00	～休憩～
13:00	<p>■分科会</p> <p>以下3テーマに分かれてこれからの災害支援のノウハウを共有します。</p> <p>※申込書に希望する分科会テーマを記載してください。</p> <p>《1》 災害ボランティアセンター運営支援</p> <p>センター運営には日頃から連携した地域の団体や地域外の応援支援団体が共存する多様な協働により、住民の声に基づいたきめ細やかで重層的なボランティアコーディネートが発揮されてきました。平時の取り組みと備えを含めた災害ボランティアセンターについて考えます。</p> <p>《2》 NPO・NGO連携（重機・テクニカル）</p> <p>災害支援には多様な形があり、技術を持つボランティア・NPO・NGOとの協働が昨今の災害支援では非常に重要な役割を担っています。技術ボランティアによる支援の視点やノウハウ、コーディネートの軸になることを共有し、さらなる支援の幅を広げるきっかけを探ります。</p> <p>《3》 農業支援連携</p> <p>宅地だけではない、生業支援という点で、今回の災害でクローズアップされた畑や農地被害に取り組んだ農業ボランティアや農業支援。農業支援によって地域住民の声と何を大事にしてきたのか。今後の災害時を含めた農業支援による連携やその狙いを共有します。</p>
14:30	■まとめ・振り返り
15:00	■閉会

※内容は変更する場合があります。ご了承ください。